



I.I.A. ニュース

市川市国際交流協会（隔月刊）
 I.I.A. ホームページ www.iaa21.jp
 e-mail: info@iaa21.jp

編集発行：市川市国際交流協会 PR 委員会
 発行責任者：乙幡 健次
 〒272-0021 市川市八幡 2-4-8
 Tel 047(332)0100 Fax 047(332)0101

コンテンツ（最終段階で書き直し）

■大久保市川市長新年の挨拶	1面	■中国留学生との集い・皇居周辺バスツアー	4面
■笹本 IIA 会長新年の挨拶・真間界限散策	2面	■バディーズ・IVIS 年末パーティー	5面
■世界遺産を学ぶ・養老溪谷バスツアー	3面	■法人会員紹介・IIA 総会予告	6面

新年のご挨拶

市川市長 大久保 博



大久保市川市長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、いちかわドイツデイの開催をはじめ、青少年交流など多くの国際交流事業が実施された1年でありましたが、どの事業も成功裡に終えることができ、大きな成果を残すことができました。また、アメリカ合衆国ガーデナ市との姉妹都市締結50周年の節目の年でもありました。市川市国際交流協会会員の皆さまの中には、締結当初から携わられた方も居られますが、半世紀という長きに渡り友好関係を維持してこられたことは、大変素晴らしいことであり、ひとえに皆さまのご支援、ご協力の賜物と、改めて厚く御礼申し上げます。

今年は、私が市長に就任して4年目の年となりますが、世情の流れに鑑みましても市川市の財政状況はますます厳しいものとなっております。限られた資源の中でも市民サービスの質を維持・向上させるように、新たな視点と発想で行動していかなくてはならないと痛感しております。

このような中、現在、市川市には外国籍の方が1万2千人近く居住されておりますが、市川市では、外国籍の方々も地域の一員であり、住民同士が互いに文化を尊重理解を深め安心して生活できる、多文化共生社会の構築を目指しております。会員の皆さまには、ご理解と温かいご支援を展開していただいております、大変心強く感じております。

一方、海外都市交流につきましては、昨年、新たにフランス共和国イッシー・レ・ムリノー市とパートナーシティを締結しました。今までにない新しい形の交流ができるのではないかと、私自身も楽しみにしているところです。これまでも増して市民主体の交流となるよう、取り組んでまいりたいと思っております。

皆さまには、今後も一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が幸多き年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

2013年 元旦

市川市在住外国人登録者数及び上位10ヶ国の人数

H24年12月28日現在

()内は前年同月数

①中国	5,004 (5,500)	②韓国・朝鮮	1,501 (1,500)	③フィリピン	1,302 (1,358)	④インド	484 (589)
⑤タイ	393 (408)	⑥ネパール	338 (285)	⑦ペルー	245 (280)	⑧米国	234 (215)
⑨ベトナム	192 (166)	⑩スリランカ	139 (180)				
総計	94ヶ国	11,341人 (100ヶ国 12,162人)	市川市総人口	468,615人 (471,672人)			



笹本 IIA 会長

謹んで新春をお慶び申し上げます。

本年は、協会設立 12 年目を迎えることとなりますが、その間、役員の皆様、会員の皆様には様々な分野で心強い活動をしていただき、今日を迎えることができましたことをここに衷心から御礼申し上げます。

本年も海外 5 都市（ガーデナ市、樂山市、メダン市、ローゼンハイム市そして新しくパートナーシティを締結したイッシー・レ・ムリノー市）との友好親善活動を始め、ホームステイ、日本語教室、通訳・翻訳、異文化交流、外国人、PR の各委員会、青年部会の皆様による真心のボランティア活動の推進を計画していただいておりますが、さらなる相互理解の深化と

拡大のために一層のご支援をいただけますようお願い申し上げます。平成 25 年度はインターナショナルデイをはじめ、サバイバル日本語教室、市川市青少年代表団のメダン市派遣、ガーデナ市派遣青少年代表団の当地受け入れの他、各委員会による様々な交流活動が計画されております。また、協会の主催及び協力事業も次々に予定されておりますが、一つ一つの事業が無事故で有意義な交流活動となりますように心より念願しております。

「継続は力なり」です。私たちの地道な海外都市と市内在住の外国人との相互理解のための活動が少しでも平和な世界の歴史を創る一助となればと心から願っております。本年一年の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

真間界限散策

外国人委員会

師走に入った週末の 12 月 2 日（日）、外国人委員会主催秋のイベント市川散策を行いました。これまで中山地区、行徳地区と行き、今回はその第三弾市川真間地区を訪ねました。

当日は、秋晴れの中、市内地域に暮らす外国人の方、日本人メンバー、初めて参加の方と総勢約 30 名。

市川案内人の会の協力をいただき、まずは南口アイリンクタワー 4 5 階の展望台から景色を楽しみました。その後、市川北口大門通りを真っ直ぐ進み、真間の継ぎ橋、手児奈霊堂、弘法寺の涙石とじっくり話を聞きながら、昔々の市川に想いをはせました。参加者同士、歩きながらの会話も弾み、いよいよ最後の訪問先

「木内ギャラリー」に到着。ここは政治家木内氏の別荘だったそうですが、とても雰囲気のある瀟洒な落ち着いた佇まいで、玄関にはクリスマスツリーが飾られていました。貸し切りのスペースで、しばらく休憩、全員の自己紹介の後、ミニホールにて、石原委員長による絵本「真間の手児奈」（発行：すがの会）の読み聞かせを楽しみました。手児奈という優しく知恵のある女性が、自ら真間の入り江に入水してしまう悲しい話ですが、“手児奈の心根”を感じて貰えたと思います。最後は吉原さんのピアノ弾き語り。得意の THE BEATLES の曲やリクエストに応え、楽しく会を締めくくっていただきました。

今回の散策の企画をするに当たり、外国人の方が興味を持つか、日本人メンバーは良く知っていてつまらないのではないか、という懸念がありましたが、実際は「住んでいる市川の歴史をもっと知りたい」「参加してよかった!」という外国の方からの声が多く、日本のメンバーからも「とても新鮮でした!」「近くにいるけど行く機会がなかったので、アイリンクタワーに上って 360 度のパノラマの景色を見られ嬉しい」「木内ギャラリーは知らなかった。静かですわね」との声。市川再発見に役立ったようです。

参加者の一人、地元で活躍中の造形家小杉氏から皆さんへ、思いがけず版画レリーフのプレゼントを頂きました。ありがとうございました。

3 時間程の短い時間でしたが、アットホームな外国人委員会の特徴が表れた集会でした。

最後に、外国人委員会は外国人の方しか入会できないと思われがちですが、日本人メンバーも入会できますし、外国人メンバーと一緒に活躍の場があります。どうぞ奮って入会、参加ください!

(石原美佐子)



秘話に聞き入る参加者

世界遺産を学ぶシリーズ 第一回 「アメリカ合衆国」

ガーデナ市委員会

12月5日（水）午後、八幡市民談話室で講演会「世界遺産を学ぶ」を開催しました。師走に入り、衆院選挙も公示され何かと慌ただしい中、多くの方の参加をいただき用意した席が足りないほどの盛況でした。この講演の開催のきっかけは、今年7月にガーデナ市を訪問した親善市民団の中に今回の講師である野澤順治先生がいらしたことです。旅行中に先生が世界遺産検定マイスター、世界遺産アカデミー認定講師の資格をお持ちであることを知り、講演をお願いしたところ、先生もIIA会員ながら具体的な活動ができずにいたのでこの機会にお役に立ちたいと喜んでお受けいただきました。



講演する野澤講師

前半は世界遺産全般に関わる内容で、「世界遺産とは未来に向けて遺していかなければならない人類共通のかけがいのない宝物」であること、エジプトのアブシンベル宮殿がアスワンハイダム建設により水没の危機にさらされた時、世界各国の協力で宮殿を移転し危機を救ったことが契機となり1972年の世界遺産条約の採択につながったこと、現在は190カ国が加盟し、962件の世界遺産の登録があること、世界遺産には、文化、自然、複合の3種類があり、文化遺産が全体の70%を占めていることなどを学びました。

後半は、アメリカの世界遺産について写真を見ながら主な遺産について紹介されました。ヨセミテ、イエローストーン、グランドキャニオン、自由の女神像など、おなじみなものに加えて、メサヴェルデ（コロラド州）、エヴァグレース（フロリダ州）などあまり知られていないものもあり興味を引きました。

日本の遺産では、昨年平泉と小笠原が登録されたことは記憶に新しいところですが、現在申請中は富士山と鎌倉とのことです。

今後はシリーズとして国別の遺産を紹介していく予定で、次回は2月にインドネシアを予定しています。

世界遺産の知識を学び、世界遺産を訪ねる旅への思いが募る楽しいひと時でした。

（山本怜）

バスツアー・養老溪谷と大多喜城

異文化交流委員会

秋晴れの11月18日（日）、40人以上の外国人を含む50人＋α（バスに乗り切れないため自家用車に分乗）で、千葉で最も美しい滝と言われる養老の滝に出かけました。紅葉シーズンの日曜日にもかかわらず、交通渋滞もなく、2時間足らずで到着。

こんなに山奥なのに、紅葉は都会よりも遅いという。全山燃ゆというまではいかないまでも、何本かは真っ赤に紅葉し、我々を惜しみなく楽しませてくれました。滝への道は一本橋。落ちる人がいないか心配でしたが、皆まだまだ若く、バランス抜群。滝をバックに、写真かと思いきや、自己紹介じゃんけんで、勝って相手の札を取ると景品がもらえる、というので、滝の前で名乗っていざ勝負。他人の目は気にもせず、コミュニケーション。



鎧兜すがた凛々しく、姫麗しく

次は大多喜城。あの有名な家康四天王の一人、ただ勝つことのみを天命とした「本多忠勝」の居城。残念ながら70年代に再建されたコンクリート作り。でも展示物は刀剣、鉄砲、鎧兜と外国人の方々には驚きのものばかり。しかもその鎧を着せてもらえるのです。3体あり、家康鎧、忠勝鎧そして井伊の赤備え。写真をとくにご覧あれ。さあ、誰が誰か。

（篠原剛）

中国留学生と市川市民の集い 餃子パーティーで熱烈交流

楽山市委員会

昨年12月22日(日)IIA会員の自宅を借りて、交流パーティーが盛大に開催されました。

日本で暮らす中国の若者が「日本の家を訪問し生活を見たい」という希望がかなえられました。予想以上の希望者で、やむなく先着10人に参加していただきました。なかには、筑波や川崎から訪れた人もありました。

夕食は各人持ち寄りのご馳走と、参加者が、会場で手作りした沢山の餃子で、初対面同士がたちまち旧知の仲のようになりました。食べるは、しゃべるはで、その賑やかなことといったらありませんでした。

日本で生活していて、聞こうと思って聞けなかったこと、それぞれの人が今考えていること、国を思う心などが垣間見え、打ち解けた雰囲気の中で率直な意見が交わされ、大変有意義な国際感覚あられる交流会でした。

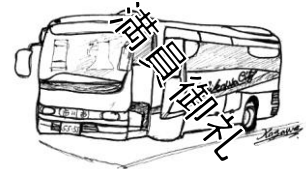
(佐藤和子・佐京彩子)



楽しい交流でした



皇居を歩こう・日帰りバスツアー



日本語教室委員会

応募人数はバスの定員をはるかにオーバーする64名。子供づれの家族、カップル等、皆さん楽しみにしている様子なので、応募者が全員参加できる様、バスに乗り切れない人達はバス(バス組)の代わりに地下鉄(電車組)を利用して皇居まで行くことにしました。

晩秋の11月18日(日)、前日の冷たい雨が、うそのように上がり、秋晴れ、日本晴れ。

バス組は皇居外苑の駐車場で下車して、江戸城跡の東御苑まで外苑のじゃり路を観光客に混じって歩きました。ジョギングしている人が多いのにビックリ!

大手門で入門札をもらい、東御苑に入り赤や黄色に染まった紅葉や日本庭園を見ながらゆっくり散策。学習者もさかんにシャッターを切って「日本の秋」を満喫していました。

電車組と東御苑で合流したあと、二重橋前で全員の記念写真。昼食は国会議事堂前の憲政記念館公園でビニールシートを敷き各自持参の昼食に舌鼓。学習者とボランティアの手作り料理交換(お新香×激辛カレー等)もあり国際色豊かな楽しい昼食になりました。

昼食後、国会議事堂で衆議院を中心に約1時間見学。折しも衆議院解散直後で院内は閑散としており、見学



皇居二重橋前で

コース以外の場所も特別に覗くことができ見ごたえ十分でした。

帰途、バス組はレインボーブリッジとゲートブリッジを通り夕焼けのスカイツリーや東京タワーを車中から見る[おまけ]もあり、予定外のプチ東京見物を楽しみました。

今回、献身的にご協力頂いた日本語教室ボランティアの方々に深謝。

(加澤和三)

バディーズ・クリスマスパーティー

バディーズでは師走の恒例クリスマスパーティを12月7日(金)に行い楽しい一時を過ごしました。

5か国33名の参加。いつもながら手作り料理とビンゴゲームの景品を用意して、クリスマスの飾りのなかクリスマスソングのBGMにビンゴゲーム。その後中国・台湾・タイ・フィリピン・日本の見事な料理に「えーっ、これ何ですか?」「ちょっとお箸を!おいしい…!」目で楽しむ、口から入る珍しい食べ物でお腹いっぱいになりました。

今年は創立20年。何年経っても変わらない暖かなこの時を過ごせることに感謝です。今年もいい年になりますように。
(篠崎法子)



和気あいあいの素晴らしい仲間たちです

IVIS Year End Party

例年のことながら、いささか早いIVISの忘年会が12月15日(土)に市川文化会館内のローズルームで行われました。市川在住のインドネシア、アメリカなどからの外国人を含む50人が一堂に会し、又IVISのメンバーの中にも入会して日の浅い人との親交を深め、古参であっても仕事や何らかの理由で週一回の定例会に出席できずにいるメンバーとは旧交を温めあう機会ともなりました。

華やかに飾られテーブルに次々運ばれるご馳走を頂きながら、クイズなど数々のゲームに手品の飛び入りがあったりして盛り上がり、ノンアルコールビールを楽しむ人もまるで本当に酔ったような熱気に包まれました。

最後は全員の合唱で奇声、ではなく美声をホール一杯に響かせ、お開き。

2013年が皆様にとって幸多き一年となりますように。そして世界中に争いのない平和が訪れますように。

(村上幸子)

イベント情報 (1月~3月)

◆「市川市・越谷市国際交流協会交流会」

日時: 2月22日(金) 13:30~

場所: 市川市役所3階委員会室5

問合せ: IIA事務局 (Tel: 047-332-0100)

◆「中国語講座」 (楽山市委員会)

日時: 2月19日(火) 16:00~18:00

3月12日(火) 15:00~17:00

場所: 市民談話室3F

☆ 来年度には「世界遺産シリーズ第4回: 中国」を開催します。ご期待下さい。

◆「バスツアー: 羽田整備工場見学と横浜中華街散策」 (異文化交流委員会)

日時: 2月17日(日) 8:30~16:30

集合場所・時間: 市川市役所ロビー 8:30

目的地: 羽田空港日本航空整備場、横浜中華街

参加費: 300円 (IIA外国人会員: 200円、昼食代は含みません。各自中華街で美味しそうなお店で食べてください)

定員: 40名

申し込み: 衣川 (Fax: 047-334-7079)

締切日: 2月2日 申し込み多数の時は抽選とします。

◆「IVIS English Open Seminar: The Jamaican Culture」

日時: 2月17日(日) 10:00~12:00

場所: 市川市男女共同参画センター5階A、Bルーム

講師: Mr. Garcia Chambers: 白百合大学、多摩大学講師

参加費、参加登録: 不要

講演、質疑応答はすべて英語で行われます。通訳はおりませんのでご了承ください。

◆「中国語通訳・翻訳勉強会」 (通訳・翻訳委員会)

日時: 3月24日(日) 13:30~15:30

場所: 市民談話室

問合せ: 栗田 (Tel: 047-323-3041 (夜))

恒例の中国語・日本語の勉強会です。ぜひご参加ください。

◆「ドイツ料理教室」 (ホームステイ・ビジット委員会)

日時: 2月2日(土) 10:00~14:00

場所: 市川公民館調理室

持ち物: エプロン、三角巾、ふきん、材料費(700円)

申し込み: 野口 (Tel/Fax: 047-339-6430)

鎗田さん(ドイツ人)からドイツの家庭料理を教えてください。多数のご参加をお待ちしています。

2、3月のドイツ語講座は休講です。4月からの詳細日程は、IIAニュース、ホームページをご覧ください。

平成 25 年度 IIA 総会開催のお知らせ 総会后大久保市長による記念講演

IIA 会員の皆様には各委員会、グループ活動を通して、日頃から様々な方法で、地域に根ざした国際交流活動を続けていただいております。この機会にぜひ協会の活動に積極的にご参加ください。

IIA 総会

日時：4月27日（土）10：00～11：00

場所：市川市文化会館地下一階「ローズルーム」

総会終了後

記念講演：大久保市川市長 11：00～12：00

懇親会： 12：00～14：00

（懇親会参加費：2,000円）

IIA 法人会員紹介（10）

市川市国際交流協会は個人会員と法人会員で構成されています。個人会員はそれぞれが所属する委員会などを通じて「国際交流」のための活動を行っていますが、法人会員については国際交流活動並びに地域への貢献をしていただいているにもかかわらず、会員の目に触れることが稀となっております。30号まで既に9社が紹介されていますが、今後この欄で引き続き法人会員を紹介することにより会員の皆様の理解が得られればと思います。

第一セントラル設備株式会社

住所：千葉県市川市本北方1-35-5

ASEAN 地域で空調などの一貫工事請負を展開中

代表取締役社長 深山浩一

当社は市川市で創業、本年40周年を迎えます。長きにわたって事業を続けることが出来たのも、市川市内のお客様のご支援あつてのことと従業員とともども大変感謝いたしております。その思いを胸に日々の仕事に努力を重ねております。快適で豊かな地域社会づくりに貢献することを旨に、総合設備環境提案型企業を目指して活動してまいりました。おかげ様で従業員も50名を超えまして、さらなる事業の伸展を期しているところでございます。

さて、「国際交流」というテーマから、当社の海外展開につきまして述べさせていただきます。一昨年2011年1月、タイ・バンコク市にて、当社初めての現地法人として Daichi Central (Thailand) Co. Ltd. 社 を発足させました。現在、当社からの出向（責任）者1名、現地採用の日本人1名、タイ人スタッフ4名で空調工事を中心に営業活動を進め、施工管理までの一貫工事請負事業を展開しております。

既存の国内物件のみの営業から、当社初めての海外営業展開をスタートさせ、はや2年が経過しました。その主な目的は、ASEAN圏での建設設備（空調工事中心）業界市場に参入の上、海外での売上げを拡大することを最大の目的に販売拠点を設立したことはいうまでもありません。事業戦略を策定し、タイ国という進出立地を十分に検討・評価した上での決断でありました。

しかし、最初から順風満帆とはいかず、たった2年間でタイ人スタッフの辞職問題が3度、日本人とタイ人間での人間関係問題も数度発生しました。やはり日本とは文化の異なる外国であったと痛感した次第です。しかしながら、ここで足踏みする訳にはいかず、次のASEAN地域の国に展開を図るべく、タイ国での現在進行形の状態のままであっても、積極的に事業展開を図り続けます。

殊更に100年企業を目指す当社は、過去に経験したことの無い問題を解決しながら、当社の文化を確立しつつ、お客様の信頼を得る事業創出を最大の目的として、社員一丸、歩み続けて行きます。これこそが、民間企業の出来得る国際交流の一端ではないでしょうか。

そんな中でも地方自治体の行政が、更なる活動の場を創出して頂けることを期待しております。

訂正：40号の新入会員紹介に間違いがありました。

（正）江澤 千鶴子（えざわ・ちづこ）（誤）江澤 千鶴子（えざわ・ちづこ）
に訂正いたします。